

気高生「防災意識アンケート」

設問 1 震災を経験した大人から、聞いてみたいことはなんですか？

- ◇ 当時大変だったことと、避難所での様子。
- ◇ 震災の際、まず初めにとった行動はなんですか？
- ◇ 必ず用意した方がいい防災グッズ
- ◇ 危険な避難場所
- ◇ 食料はどうしていたのか？
- ◇ 特にないです。
- ◇ 震災直後、一番大変だったことは何か。
- ◇ 当時の様子
- ◇ 私たち高校生が震災時にできること
- ◇ とくにない
- ◇ 震災のときにどのような判断をして避難したのか、非常持ち出し袋に入れるべきものについて。
- ◇ そのときの状況 心境
- ◇ 地震がきた時、まず何を考えたのか。
- ◇ 子供がいる時に震災時大変だったこと
- ◇ 津波の勢いはどれくらいなのか
- ◇ 1番辛かったことは何か
- ◇ 大変なこと
- ◇ 避難所で苦労した事
- ◇ 1番不安だったこと
- ◇ 地震が起きた当時から落ち着くまでの心理状況とか避難所で何が有ればより充実した生活になったか
- ◇ 震災が起こった時の状況や対応したことについて聞きたい。
- ◇ 避難生活をしている時の気持ち
- ◇ どのように判断して、避難などをしたのか。
- ◇ どのように行動をしたのか。また、どのしてその行動をしたのか
- ◇ 具体的にどういう行動をして、今に至るのか。
- ◇ 災害時にどうやって心を落ち着けたか
- ◇ 震災で1番大変だったことは何ですか？
- ◇ 震災時に大変だったこと、何をされて（救援物資やボランティアからなど）嬉しかったのか
- ◇ 震災後の意識の変化について
- ◇ 当時の避難所の状況

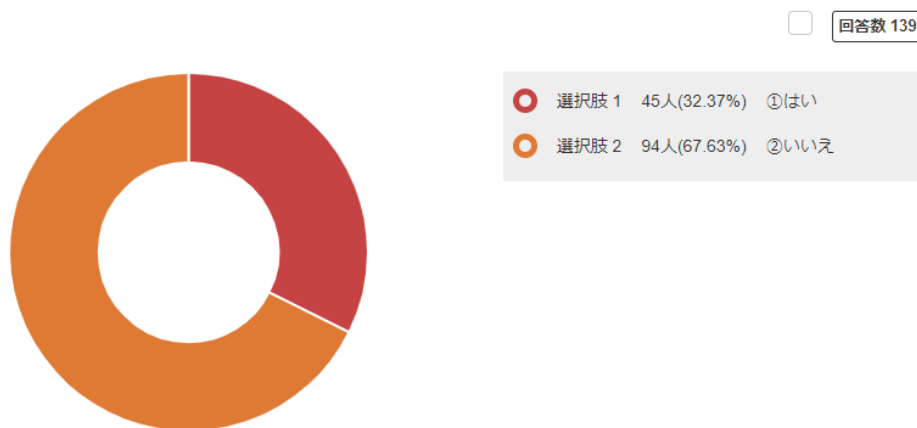
- ◇ 特になし
- ◇ 私は震災の記憶が曖昧なのでどんなふうだったのか聞いてみたいです。
- ◇ 震災時1番困ったことは何か
- ◇ 避難所での、生活
- ◇ 避難の仕方
- ◇ 当時の様子
- ◇ 東日本大震災の前後での防災意識の変化。また、東日本大震災直後と現在での意識の変化。
- ◇ 当時の教訓
- ◇ 金銭面での被害
- ◇ 当時の避難所での様子
- ◇ 震災時1番おどろいたこと
- ◇ 震災の後から防災を意識するようになったか
- ◇ また、意識しているならどのような事を意識しているのか
- ◇ 震災の怖さや避難所でどのような生活を送っていたのか
- ◇ ありません
- ◇ 避難所生活大切だったことはなんですか？
- ◇ どんな気持ちで避難したか
- ◇ 当時どんな被害があったのか、そこからどうやって立て直したのか
- ◇ 避難所の様子
- ◇ 食事の提供はどのように行われどのような食事が出されていたか
- ◇ 目の前で被災する町を見てどのような気持ちだったか
- ◇ 当時の津波の高さ、速さ
- ◇ 震災が起きてる時とその後どのような行動をしたか。
- ◇ 災害が起こった直前は最初に何をしたか。
- ◇ あの日、大人の方々はどのような思いを抱き、どのような行動を取ったのかということ。また、次に東日本大震災のような災害が起きたら、どのような行動を取りたいと考えているのか。そのために普段からしていることはあるのかということ。
- ◇ 1番苦労した事と備えておくべきだと思ったもの
- ◇ 避難所でどんな暇つぶしをしていたのか。
- ◇ 震災の時に困ったこと
- ◇ 地震発生当時の周りの様子、自分はどういう思いだったのか。
- ◇ 震災時どんな心境だったか
- ◇ 震災の時の高校生の対応や行動
- ◇ こうしていれば良かったと、当日思った事が何か聞きたい
- ◇ 避難所で大変だったこと

- ◇ 震災前と震災後の意識の変化について
- ◇ 発生当時の緊張した様子。
- ◇ 避難してから1番大変だったこと
- ◇ 1番不安だったことは
- ◇ 経験者がどうしても伝えたいこと
- ◇ 当日どんな状況だったか
- ◇ 実際の避難所の雰囲気
- ◇ 震災後どんな意識を持つようになったか
- ◇ 津波が来ているときの細かい状況
- ◇ 当時の状況
- ◇ 当時の状況
- ◇ 今でも記憶に残っているもの
- ◇ 電気が復旧しない中、どうやって生活していましたか。
- ◇ 避難の時の様子
- ◇ 大きな地震が来た時に津波が来る心配はあったか。それとも来ないだろうと考えていたか。
- ◇ 震災が起こる前の地震や津波に対する危機感はどれくらいだったのか
- ◇ 避難所生活はどうだったのか聞きたい。また、震災直後から今の生活に戻るまでの過程を聞きたい。
- ◇ 怖かったか。冷静な判断はできたか。
- ◇ 海への不快感や嫌悪感がなくなるまでどのくらいの時間がかかったか
- ◇ 絶望から生きる希望を見出す精神力
- ◇ 震災当時、子どもだった私たちはどんな風に過ごしていたのか。
- ◇ 翌朝の行動（何から始めたのか）
- ◇ 震災の時死ぬと思ったか
- ◇ なし
- ◇ 食べ物など準備していたものは持って行けたのか
- ◇ 避難所でどのような生活を送ったのか
- ◇ 当時は、的確な対処法を知っていたか
- ◇ また、実行できたか
- ◇ どうして津波がくるとわかったのか
- ◇ 3.11から学べた、今後にかかせそうなことはなんですか
- ◇ 避難の仕方
- ◇ 避難生活の様子
- ◇ 周りの人を助ける時に何を重要視したのか
- ◇ 何を持って避難しましたか。また、持った方が良かったと感じた物がありますか。

- ◇ 震災の時に避難所とかで生活する上で一番大変だったこと。
- ◇ あの当時の思いや、今辛いこと
- ◇ 1番考えたこと
- ◇ その時の心情
- ◇ 後悔したことは何か。(物を取りに戻らなければよかった,,など)
- ◇ 避難してる時に一番困ったこと
- ◇ 特になし
- ◇ 地震が起きて、津波が来るとなった時に一番最初に考えたことは何か。
- ◇ なし
- ◇ 災害にあった子供たちにどのように対応したか。
- ◇ ない
- ◇ 無いです
- ◇ 震災の経験をこれからどのように伝えていくべきだと思いますか？
- ◇ 当日どのように行動したか。
- ◇ 震災から何を学んだか。
- ◇ 非常用持ち出し袋などの準備はしているか。
- ◇ 震災時の苦労
- ◇ 震災直後はどう生活したか
- ◇ 大人が感じた震災の状況
- ◇ 震災を経験したことのない子供たちに震災の影響力の大きさをどう伝えていくかについて大人の目線から考える伝え方を知りたい。
- ◇ 津波の速さ
- ◇ 当時の食事や、水道、電気の様子
- ◇ 特になし
- ◇ 震災を知らない子供にどう伝えていくべきだと思うか
- ◇ 震災が起こった当時のその場にいた人達の行動
- ◇ 防災バックに入れておいた方がいいもの。
- ◇ 今のうちに用意しておかないといけないものはなんですか
- ◇ 防寒の方法
- ◇ 支援物資の仕分けや配分のシステム構築
- ◇ 物流系の企業と公的機関の連携
- ◇ 医療関係施設のトリアージの状況
- ◇ 震災後のメンタルケアの取り組み
- ◇ 電波遮断後の混乱状況と現在の対策
- ◇ 自分たちの身を守るための行動
- ◇ ない

- ◇ 当時の動き
- ◇ 特にありません
- ◇ その時の詳細な状況

設問 2 災害時に、自炊することはできますか？



設問 3.設問 2.で①と回答した生徒は、具体的に何が作れますか？

- ◇ サバ飯を作ったことがある。
- ◇ サバ飯
- ◇ 震災時なら材料にもよりますが、簡単なおにぎりぐらいです。
- ◇ サバイバル飯
- ◇ 缶でご飯を炊く
- ◇ ご飯(おにぎり)
- ◇ お味噌汁
- ◇ たまご焼き など
- ◇ カレーや味噌汁簡単な料理
- ◇ サバ飯
- ◇ おにぎり
- ◇ 味噌汁
- ◇ カレー
- ◇ ご飯
- ◇ 米が炊ける
- ◇ 焼き芋作れる
- ◇ 空き缶を使ってご飯をたく
- ◇ 作れるか分からない

- ◇ カレー、味噌汁など
- ◇ カレーライス
- ◇ 避難所にある食材でかんたんなものをつくる
- ◇ カレー
- ◇ サバ飯
- ◇ 米を炊く
- ◇ 白米、カレー、
- ◇ レトルト食品
- ◇ カレーライス
- ◇ カレーライス
- ◇ 塩おにぎり
- ◇ カレー
- ◇ 味噌汁
- ◇ 卵焼き

● など

- ◇ 味噌汁
- ◇ ご飯
- ◇ カレーライス、ご飯(缶と火と牛乳パックとうちわを使って)
- ◇ おにぎり、お味噌汁くらいは作れると思う
- ◇ カレー シチュー
- ◇ カレー
- ◇ 水があればなんでもできます
- ◇ ご飯 味噌汁
- ◇ カレー
- ◇ たまごやき
- ◇ カレーライス
- ◇ おにぎり

- ◇ サバ飯
- ◇ ご飯をたける、カレー作れる
- ◇ カップラーメン
- ◇ なんでも
- ◇ ご飯を鍋でたく、お味噌汁
- ◇ カレー
- ◇ 味噌汁

設問 4 小中高の防災教育で身に付けた知識や技術があれば教えてください

- ◇ おはしも
- ◇ 海拔表示板
- ◇ ないです
- ◇ 救急救命法
- ◇ ハザードマップ作り
- ◇ サバ飯
- ◇ いかのおすし
- ◇ だんごむしのポーズ
- ◇ 特にないです。
- ◇ 「お・は・し・も」
- ◇ 消火器の使い方
- ◇ 地域の方々との避難の仕方
- ◇ お年寄りや子供などへのこころのケア
- ◇ 便利な防災グッズ
- ◇ 特にない
- ◇ 避難場所と避難の仕方
- ◇ 自分の身を守ること
- ◇ 実際の感じた揺れから計算
- ◇ とりあえず逃げる
- ◇ 消火栓の使い方
- ◇ おはしも
- ◇ ダンゴムシポーズ
- ◇ 地震が来たら津波
- ◇ 避難は橋を通ったり川の近くを通らない。
- ◇ 地震が来たら退路を確保しておく
- ◇ 地震は丈夫な物の下に隠れる。
- ◇ 津波は引っ掻くように引いていった後に来る
- ◇ 避難訓練は、災害が起きた時素早く行動できるように繰り返し行う為のものなので、避難の仕方はしっかり身につけていると思う。
- ◇ 特になし
- ◇ 津波が来る時はより高いところに逃げること。
- ◇ 警報が出た場合はすぐに避難を開始すること。
- ◇ 地震の時は余震に気をつけること。など
- ◇ テント設営や発電機をつけること

- ◇ 地震、津波、火事などが起きたときに、それぞれについてどのような行動をしたら良いのかということ
- ◇ 避難意識、防災意識
- ◇ 基本的なことは全部わかってると思います
- ◇ 津波が来ると分かったらすぐに高台に避難する。
- ◇ 地震や津波の際に落ち着いて行動できるよう、避難経路などを常に知っている。
- ◇ お 押さない
- ◇ は 走らない
- ◇ し 喋らない
- ◇ も 戻らない
- ◇ 冷静に行動する
- ◇ テントの立て方 土のうの作り方
- ◇ 消化器の使い方
- ◇ ダンゴムシのポーズ
- ◇ おはしも
- ◇ 災害時は助け合いが大事なので日常的にご近所さんとあいさつくらいでもいいから交流しておく
- ◇ 災害時は「ここは大丈夫だ」ということはない←正常性バイアス
- ◇ ダンボール仕切りのつくりかた
- ◇ 避難所では、プライバシーを守る時にはテント、騒音やホコリを防ぎたい時にはダンボール
- ◇ とりあえず高いところに行く
- ◇ コメの炊き方
- ◇ 新聞紙を用いたスリッパの作り方
- ◇ 地震や津波の基本的な原理
- ◇ 災害発生時の心理状態
- ◇ 避難所設営
- ◇ 空き缶を使ってご飯をたくこと
- ◇ 避難先の備蓄庫にある用具の使い方
- ◇ おはしもで逃げる
- ◇ 防災バッグの準備について
- ◇ 思い込みほど怖いものはなく、常に疑いを持つことが大切
- ◇ カップ麺は水でもできる(15分程度)
- ◇ 食器にラップをすれば洗わないで済む
- ◇ 前の災害を当てにしては行けないという心構えや声がけ冷静にするということ
- ◇ 防災頭巾で頭を守る

- ◇ だんごむしのポーズ
- ◇ いかのおすし
- ◇ すぐに物のしたに隠れる
- ◇ 新聞を使って即席のスリッパを作ったり
- ◇ テントを建てたりした。
- ◇ おはしも
- ◇ 避難上設営、炊き出し
- ◇ 津波が来たら高いところに逃げる。
- ◇ 防災バッグ、非常用持ち出し袋
- ◇ ハザードマップ
- ◇ おかしもち
- ◇ いかのおすし
- ◇ 正常性バイアスや同調性バイアスが働き、避難判断などを妨げること。だから、それを防ぐために普段からコミュニケーションを地域の人と取ったりし、いざというときに声掛けをできるようにすることが大切。想定にとらわれすぎないこと。何年前はここは大丈夫だったから、また大丈夫だろう。などと思うのではなく、常に最悪の場合を想定して動くことが大切だということ。
- ◇ 日頃から備えておくことが大切で、訓練から本番のように考えて行動すること
- ◇ 胸骨圧迫、AED、人工呼吸の技術
- ◇ 出来るだけ高いところに行く
- ◇ 地震があったらまず自分の身を守って近くの避難経路から高台に避難する。
- ◇ 高台へ逃げる
- ◇ 机の下に潜る
- ◇ すぐには動かない
- ◇ 頭を最初に守る
- ◇ 防災バックに入れるべきもの
- ◇ 応急手当
- ◇ すぐ高台に逃げる
- ◇ おはしも ダンゴムシ
- ◇ 素早く対応する行動力
- ◇ 逃げかた
- ◇ やっちゃダメなこと
 - ・ 常に避難経路や避難場所を確認するのは大事
 - ・ 伝承するには大人には実際の記録を交えて、子供には紙芝居などの遊びを交えた方がより学びやすい
- ◇ 「おはしも」

- ◇ 骨折の際の対応の仕方
- ◇ おはしもて
- ◇ 特になし
- ◇ おさないはしらないしゃべないもどらない
- ◇ 避難行動の仕方
- ◇ 避難所初期設営の運営
- ◇ 災害テントの建て方
- ◇ 避難経路の確認や、避難する時に、持っていく物を普段からまとめておいておくことが必要
- ◇ 揺れ始めたらなるべく動かずに、頭を抱える。
- ◇ 物がなるべくない場所へ移動し、ダンゴムシのポーズをとる。など
- ◇ 津波てんでんこ
- ◇ 日頃から避難する場所を家族で話し合っておく
- ◇ 簡易トイレの作り方など。
- ◇ 小学校の時に空き缶でお米を炊くのをやった。
- ◇ 家族がその場になくてもとにかく高いところに逃げる

- ◇ 災害時の対応とそれを想定して準備すること
 - ・ ラップを食器にひいて水の節約
 - ・ 怪我人の運び方
- ◇ 新聞紙スリッパを作ることができる
- ◇ ダンゴムシのポーズ
- ◇ 簡易テントの設置、サバイバル飯の作り方、避難所設営、救護
- ◇ おはしも
- ◇ 机の下に隠れる
- ◇ 火事の際は、しゃがんで歩く
- ◇ 取れない結びかた
- ◇ 簡易的な食器やスリッパの作り方
- ◇ 頭をまもる
- ◇ すぐに避難する
- ◇ 怪我の応急処置
- ◇ ダンゴムシ
- ◇ U字溝の運び方
- ◇ 救護法
- ◇ おはしもち
- ◇ ダンゴムシのポーズ

- ◇ 地震がきたらすぐに机の下に潜る。津波が来る可能性がある際は近くの高台に避難する。
- ◇ 安全な場所にすぐ逃げる
- ◇ 浴槽の水は溜めておくと良い。
- ◇ 高台に登る
- ◇ 特になし
- ◇ 命を守るために、大事なものを置いてきてしまったとしても絶対に戻らないで逃げる
- ◇ こと。
- ◇ 地域の浸水区域、避難場所が分かる
- ◇ おはしも
- ◇ とにかくなりふり構わず逃げる
- ◇ すぐ机に潜る

- ◇ 防災バックを用意する

- ◇ 自分の命は自分で守るという意識

- ◇ おはしも（おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない）
- ◇ 救急救命の仕方
- ◇ 非常時の行動
- ◇ 気仙沼の地形
- ◇ 防災バックの中身は常に確認すること
- ◇ 近くに頭を隠す場所がなければ、頭を手で覆って床に縮こまる
- ◇ おはしも
- ◇ 非常用持ち出し袋の中身を確実に揃えて置く必要があること。
- ◇ 避難時は教室の窓を閉めることと、逃げ方
- ◇ 地震の時は逃げる前に身の安全や周辺の安全を確認する。
- ◇ とにかく焦らないことと助け合うこと
- ◇ 食器はラップをかけて使用すると、洗わずに何度も使うことが出来る
- ◇ 有事の際の状況イメージ力
- ◇ 避難時の注意事項
- ◇ 負傷者の運び方
- ◇ 消化器の基本的な扱い方
- ◇ 家に戻らないことが大事
- ◇ ご飯の炊き出し
- ◇ 避難所の開設

- ◇ 避難所設営
- ◇ 落ち着くこと
- ◇ 防災グッズ等をすぐに持ち出しやすい所に置いておくこと。